

GIGAスクールの推進

～教育効果の最大化をめざして～

- 新しい時代を担う子どもが、自ら学び続ける力を身につけ、国際社会をはじめ国内外の「それぞれの世界」を舞台に挑戦していくためにも、ICTの活用を基盤とした教育施策を一層充実させていく必要がある。堺市におけるGIGAスクールを推進し、子どもがICTを使って多様な情報に触れ、主体的に分析・判断・表現することで、自分のよさを知り、人とつながり協働する力を育み、また、コンピュータやAIなどの情報技術を正しく、適切に、創造的に活用することで、ゆめの実現に向けて挑戦する力を育むことが重要である。
- 不登校の児童生徒や障害のある児童生徒など、多様な子どもは本市においても増加傾向にある。「チーム学校」による支援や子どもの小さな変化や予兆を見逃さず、個々のニーズに応じた学びの支援を行うことで、子どもたちを誰一人取り残さず、子どもが安心して過ごすことのできる居場所をつくること、子どもの状況に応じた多様な学びの場の確保及び充実を図ることが必要である。

策定の背景

- 教員を取り巻く環境として、全国的に長時間勤務の教員が多く、病気休職者も増加している。本市においてもこれまで様々な業務改善等の取組を進めてきたが、依然として教員の長時間勤務者が多く、精神疾患による病気休職者数が増加している。これまで学校現場で「当たり前」のこととして行われてきたことを、保護者や地域の理解のもとで「見つめ直し」、教員の勤務環境を改善することで、働きやすく「働きがい」のある学校を実現することが重要である。教員が教員にしかできない業務に専念できる環境をつくることによって、本市の教育の充実を図り、子どもの確かな学びや健やかな成長に繋げる必要がある。

目的、今後の方向性

■ ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、探究的な学びの充実

学力低位層の増加などの課題の解消を図り、子どもに必要となる「総合的な学力」を育成するためには、これまでの同一集団・同一内容の学習を前提とした教育だけでなく、子どもたちの多様な状況に応じたパーソナライズした学びを実現する必要があります。

そのため、1人1台パソコン等のICTを最大限活用し、子どもが自分に合った学びができていると感じられる「個別最適な学び」と、他者と学ぶことで考え方が組み合わせ、より良い学びを生み出す「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

また、子どもの課題解決能力の向上に向け、子どもが自ら課題を見つけ、情報収集、整理分析、まとめ表現をする「探究的な学び」の充実を図る。

目的、今後の方向性

■ ICTを活用した多様な子どもへの対応

障害のある子どもの自立や社会参加に向けた取組支援や不登校の未然防止・早期発見等にむけた取組等の多様な子どもへの対応には、各種データに基づいた分析や支援が欠かせない。

そのため、多様で大量のデータの蓄積や取扱・共有に最適なツールであるICTを効果的に活用することで、子どもや学級等の状況を把握し、データに基づいた個々の子どもに最適な学びの場の確保や充実に向けた取組を進める。

■ ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現

教員が教員にしかできない業務に専念し、教員が子どもに向き合う時間を確保し、高いモチベーションを持つためには、教職員の業務の「見つめ直し」が必須である。「見つめ直し」にあたっては、業務の効率化や標準化に最適なICTを効果的に活用し、採点、授業準備・教材研究や学習指導等をはじめとする教員の業務の効率化・標準化を進める。

成果指標

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、探究的な学びの充実

■ 設定する指標

指標	現状	令和7年度
「児童生徒が 自分で調べる場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか」【週3回以上】 (参考) 令和5年度全国平均：小70.0 中64.6	小 69.6 中 53.5	全国平均を上回る
「児童生徒が 自分の考えをまとめ、発表・表現する場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか」【週3回以上】 (参考) 令和5年度全国平均：小45.8 中44.2	小 40.2 中 37.2	全国平均を上回る
「 児童生徒同士がやりとりする場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか」【週3回以上】 (参考) 令和5年度全国平均：小40.0 中33.7	小 31.5 中 32.6	全国平均を上回る
「児童生徒が 特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面 で、 PC・タブレットなどのICT機器 を、どの程度使用させていますか」【週3回以上】 (参考) 令和5年度全国平均：小45.0 中35.7	小 41.3 中 35.7	全国平均を上回る

(全国学力・学習状況調査における「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」の割合)

(%)

ICTを活用した多様な子どもへの対応

■ 設定する指標

指標	現状	令和7年度
「これまでに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」と回答した児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査における「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」の割合)	小 82.6 中 77.3	小 95 中 90
ICT等を活用した支援が可能な体制を確立した学校の割合 (堺市教育委員会調べ)	—	100

(%)

ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現

■ 設定する指標

指標	現状	令和7年度
教材研究・指導の準備・評価についてICT を活用することは負担軽減に効果があると思う教員の割合 (堺市教育委員会調べ)	小 61 中 44	100

(%)

取組の体系

目的	分類	基本施策
ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 探究的な学びの充実	ICTを活用した 授業改善	教員の指導力向上
		ICTを活用する授業の標準化
	児童生徒の 情報活用能力の育成	問題解決・探究的な学習形態の推進
		情報モラル・情報セキュリティ教育の推進
ICTを活用した多様な子どもへの対応	不登校対策	不安や悩みの早期発見
		不安や悩みの軽減・解消
	特別支援教育	学校のユニバーサルデザイン化へのICT活用
		小学校・中学校段階でのICT活用による指導・支援
ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現	校務・教務の効率化、標準化	採点、授業準備・教材研究におけるICT活用の推進

重点的に取り組む項目一覧

(他アクションプラン等からの再掲)

個々の子どもに応じた学びの充実や多様な子どもへの対応など、重点項目へ取り組むにあたっては、エビデンスとなるデータを活用し、**教育効果を最大化**させる。

また、学校園等がデータ活用を促進し、教育効果を最大化させるため、データの効果的な活用手法（教育ダッシュボードの活用等）についても検討を進める。

<重点的に取り組む項目一覧>

重点項目1 ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、探究的な学びの充実

重点項目2 ICTを活用した多様な子どもへの対応

重点項目3 ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現

1 ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 探究的な学びの充実

○子どもの学び方

- ・授業モデル「探究×ICT」の活用
- ・IRT調査による個々の子どもの状況分析及び支援
- ・ICT学習支援コンテンツを活用した苦手単元や下学年の内容の学び直し支援 など

○教員の授業改善

- ・授業モデル「探究×ICT」を参考に、ICTを最大限活用した授業実践
- ・探究的な学びの充実（STEAMブックの活用）
- ・ICT活用インフルエンサーによる支援 など

ICTを活用した学びの質の向上



日々の授業で、1人1台パソコンを積極的に活用
▶子どもの学びの状況に応じた取組や、子どもたちが一緒に考え、そして、より深く学ぶ機会の増加

2-1 ICTを活用した多様な子どもへの対応 (不登校対策)

○ICTを活用した「学び」や「気づき」のための効果的な活用実践

- ・小さな変化や予兆を把握するための各種アンケートの実施（生活アンケート、いじめアンケートなど）
- ・データを活用した状況把握（ICTを活用したそれぞれの子どもの心身の状況把握）
- ・楽しい学校生活を送るためのhyper-QUによる学級状況の把握
- ・学びの機会を提供する授業動画の配信
- ・学習用教材の提供
- ・生活習慣の改善に向けた睡眠教育（みんいく）の実践
- ・データに基づく研修や、「気づき」や「未然防止」を意識した研修内容の充実

ICT機能の効果的な活用



(※)

規則正しい生活習慣構築のため、アプリを活用して、睡眠状況の把握
▶ICT機能を効果的に活用し、日常から子どもの状態を把握し、きめ細かな対応の実現

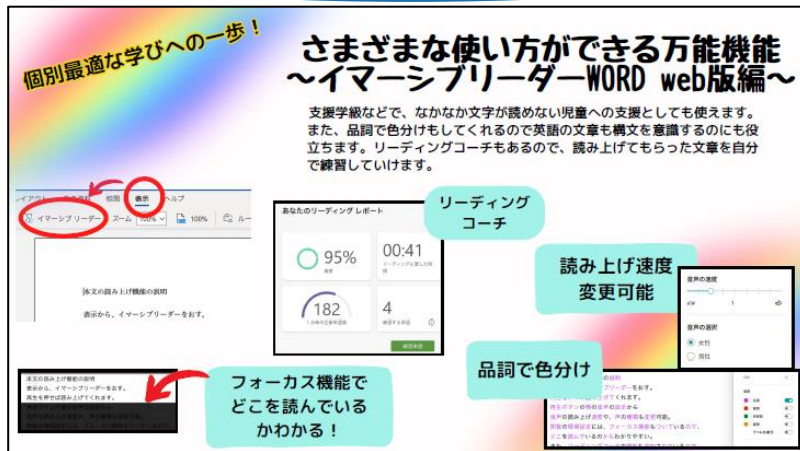
(※) みんいくAIアプリの画面イメージ

2-2 ICTを活用した多様な子どもへの対応 (特別支援教育)

○ICTの活用による指導・支援の取組

- ・ICTを活用した授業の好事例やICT学びツールの共有
- ・個々の子どもの状況に応じたよりよい学習効果を得るための、ICTを活用した教材、教具の積極的な利活用
- ・ICTを活用した取組事例の校内・学校間共有の実施
- ・子どもの適切な指導支援を探るための学校群をモデル校とした教育支援ソフトの活用

ICT機能の効果的な活用



個別最適な学びへの一歩！

**さまざまな使い方ができる万能機能
～イマーシブリーダーWORD web版編～**

支援学級などで、なかなか文字が読めない児童への支援としても使えます。
また、品詞で色分けもしてくれるので英語の文章も構文を意識するのにも役立ちます。リーディングコーチもあるので、読み上げてもらった文章を自分で練習していきます。

**リーディング
コーチ**

読み上げ速度
変更可能

品詞で色分け

**フォーカス機能で
どこを読んでいる
かわかる！**

視覚や読字に課題がある子どもに対して文字読みあげ機能を活用した学習方法の導入
▶ ICT機能を効果的に活用できる機会を増やすことで、多様な子どもの状況に応じたきめ細かな対応の実現

(※) (※) ICTを活用した学習方法の事例

3 ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現 (校務・教務の効率化、標準化)

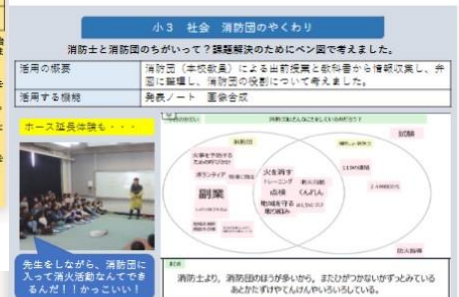
○採点、授業準備・教材研究におけるICT活用の推進

- ・自動採点のモデル事業の検証結果をふまえ、全中学校へ展開
- ・単元別テストやドリルなど出題や採点が自動化されたICT学習支援コンテンツを活用
- ・全ての教科の使いやすい指導事例を共有
- ・子どもの理解の度合いや学習の進捗などをデータ化し、学習指導に活用
- ・学校群における授業準備や教材研究、参考資料作成等の効率化

ICTを活用した業務の効率化、共有化



中1 社会（歴史でパワーポイント作成）



小3 社会（消防団のやくわり）

(※1)



(※2)

(※1) ICTを活用した授業事例集の画面イメージ

(※2) 教員用コミュニティサイトの画面イメージ

ICTを活用した具体的な授業事例の共有や、情報共有の活性化に向けたコミュニティサイトの運営
▶ 教員の行う業務や事務作業の効率化・共有化の推進

1 ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 探究的な学びの充実

1 ICTを活用した授業改善

教員の指導力向上

- インフルエンサー（ICT活用研究員）を活用した、各学校の課題に応じた授業支援
- ICT活用の日常化、多様化に向けた研修の実施
- 授業でのICT活用事例の発信・共有（コミュニティサイトの活用など）

ICTを活用する授業の標準化

- 授業モデル「探究×ICT」の活用
- 学校群によるオンラインでの合同授業
- 学習での生成AI活用に関する研究・事例収集
- 1人1台パソコンの安定稼働のための適切な維持管理
- 教科学力調査等と連動した家庭学習の支援（ICT学習支援コンテンツの充実及び活用など）

1 ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 探究的な学びの充実

2 児童生徒の情報活用能力の育成

問題解決・探究的な学習形態の推進

- 授業モデル「探究×ICT」における情報活用
- STEAM教育を中心とした探究的な学びにおける情報活用
- 情報活用能力チェックリストを活用した9年間を見通した系統的な指導

情報モラル・情報セキュリティ教育の推進

- デジタルシティズンシップモデル校での取組の分析、全学校での実施
- 情報モラル教育授業の全校実施 ■ 学習用教材の提供

1 不登校対策

不安や悩みの早期発見

- 小さな変化や予兆を把握するための各種アンケートの実施（生活アンケート、いじめアンケートなど）
- データを活用した状況把握（ICTを活用した児童生徒の心身の状況把握）
- 学びの機会を提供する授業動画の配信
- データに基づく研修や、「気づき」や「未然防止」を意識した研修内容の充実

不安や悩みの軽減・解消

- 学びの機会を提供する授業動画の配信
- 1人1台パソコンの活用
- 学習用教材の提供

2 特別支援教育

学校のユニバーサルデザイン化へのICT活用

- ICT機器やツール等の特徴を活かした効果的な取組の検討

小学校・中学校段階でのICT活用による指導・支援

- 子どもの特性等に応じたICT教育ソフトの活用
- 児童生徒の状況のデータ化による効果的な取組の推進や教員の負担軽減及び情報活用能力の育成

3 ICTを活用した教職員が働きやすく「働きがい」のある学校の実現 (校務・教務の効率化、標準化)

1 ICTを活用した学校園業務の効率化・標準化

- 自動採点のモデル事業の検証結果をふまえ、全中学校へ展開
- 単元別テストやドリルなど出題や採点が自動化された学習支援ツールを活用
- 全ての教科の使いやすい指導事例を共有
- 子どもの理解の度合いや学習の進捗などをデータ化し、学習指導に活用
- 学校群における授業準備や教材研究、テスト問題の作成等の効率化